

## 着任のご挨拶

### 東北地方整備局 統括防災官 佐藤 正明



4月1日付けで統括防災官に着任しました佐藤正明です。東北地方整備局に防災グループが誕生して4年目、3代目の統括防災官です。どうぞよろしくお願ひします。

東北地方防災エキスパートの皆さまには、災害時のみならず、平時から、各事務(管理)所で実施する防災訓練、河川・道路巡視、道路巡回等に参加していただき、技術的な助言を得るなど、災害に備えて職員と一体となった体制を構築して頂いております。

とりわけ災害時には、令和元年度の台風19号の災害対応においては延べ57名、令和2年度の7月豪雨及び2月に発生した福島県沖を震源とする最大震度6強を観測した地震の際には延べ14名、今年3月の福島県沖地震の際には延べ15名の防災エキスパートの皆さまに出勤を要請し、過酷な活動環境にもかかわらず、迅速な被害情報の収集、効果的な応急復旧対策の立案等、多大なるご支援をいただきました。紙面をお借りし、心から御礼申し上げます。

さて、近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、日本各地で大規模自然災害が発生して甚大な被害をもたらしていることに加え、首都直下地震や南海トラフ巨大地震の発生についても危惧されているところです。

このような状況に鑑み、今後も防災エキスパートの皆さまとの情報交換等、日頃の取り組みを通じて緊密に連携をはかり、災害に備えて職員と一体になった体制を更に充実させていく必要があります。

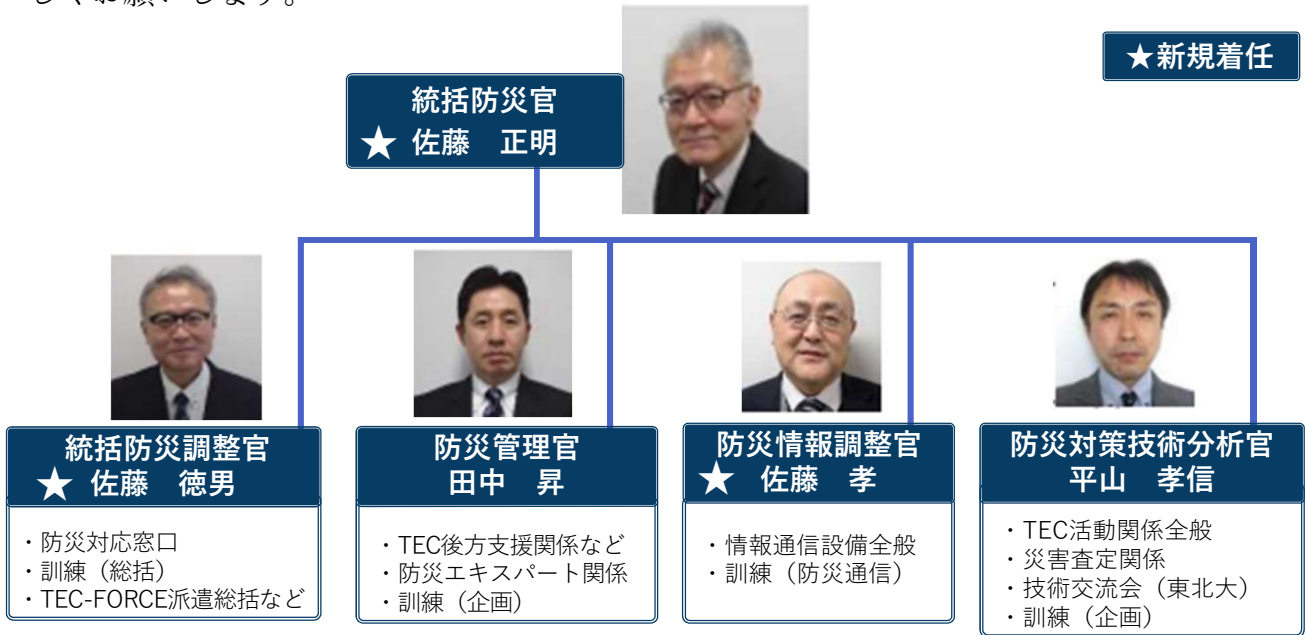
整備局としても、所管施設だけでなく、管内自治体等へ、よりきめ細やかに支援するため、TEC-FORCE及びリエゾンの体制・機能の拡充・強化に取り組んでおります。

さらに、今後は、東北地整管内を越えた遠隔地におけるTEC-FORCE活動との連携等も見据え、防災エキスパート制度の強化も必要になってくると考えており、皆さまと意見交換しながら具体的に進めていきたいと考えております。

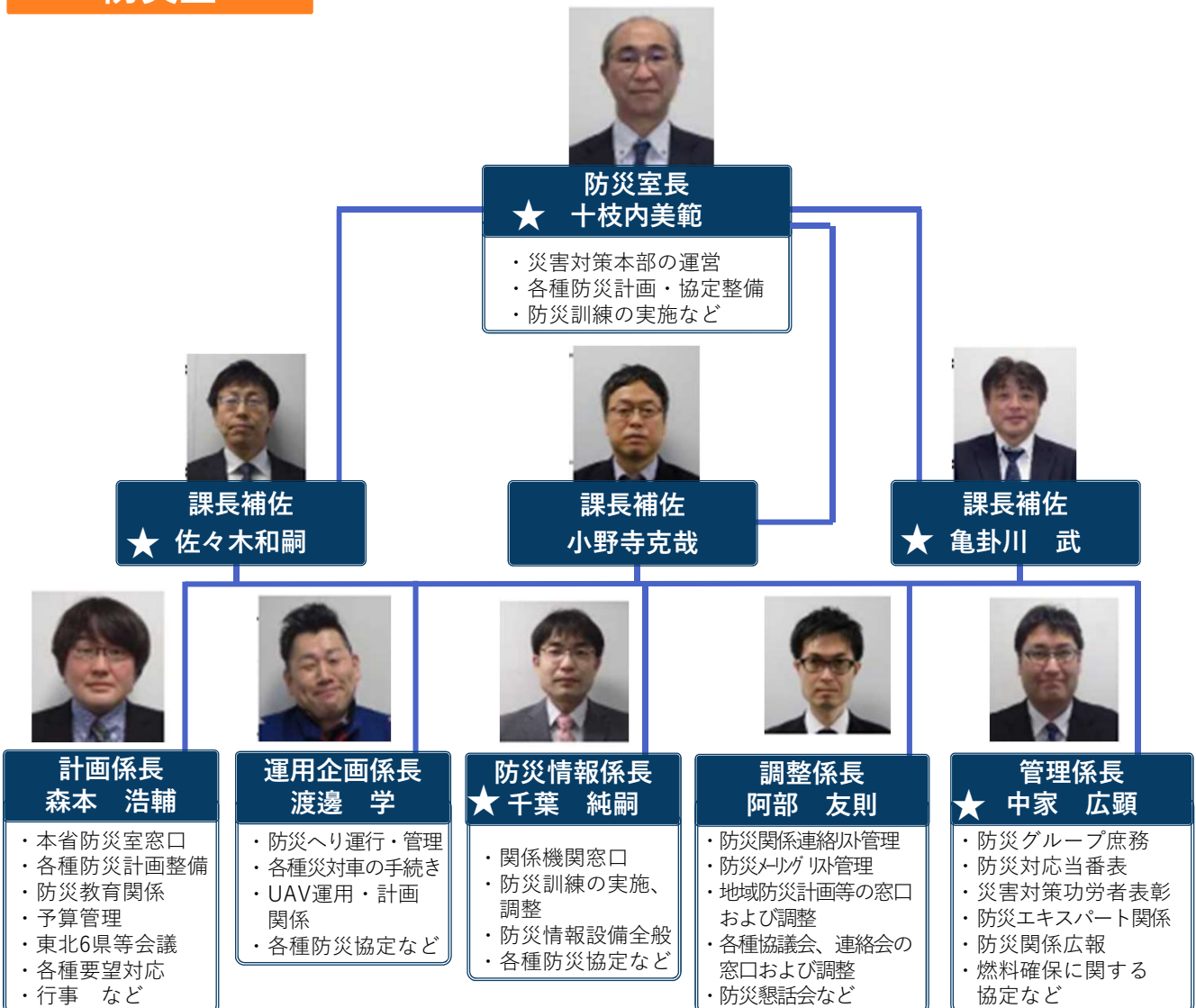
地域の安全・安心を守るため、東北地方防災エキスパートの皆さまと一緒に取り組んで参りたいと考えておりますので、今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

# 令和4年度 防災グループ業務体制について

4月期の人事異動に伴い防災グループが新体制になりました。今年度も引き続きよろしくお願ひします。



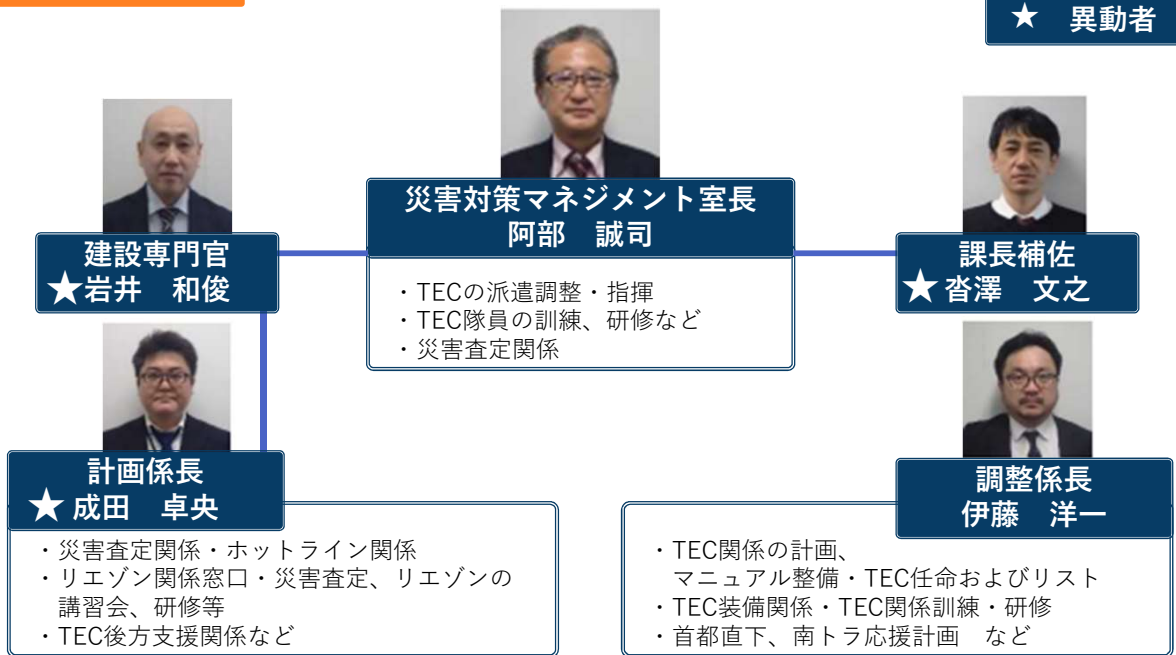
## 防災室



防災グループ業務体制

災害対策  
マネジメント室

★ 異動者



本格的な出水期に備え防災体制を確認

～令和4年度 洪水対応演習を実施～

東北地方整備局 河川部水害予報センター

1.はじめに

東北地方整備局では、令和4年5月13日（金）に本格的な出水期を前に大規模な出水・堤防決壊等の重大災害を想定した「洪水対応演習」を実施しました。

本演習は毎年、整備局、河川・ダム関係事務所、関係市町村、各地方気象台などが参加し、地域の防災活動の適切な判断・行動につなげるよう洪水時の河川・ダムの水位などの情報を関係機関に迅速かつ的確に伝達し、洪水時の防災体制に万全を期するために実施しています。

2.実施内容

演習では、整備局と事務所間の被災状況等の情報伝達訓練（TV 会議システムの活用含む）、県、市町村等の関係機関との情報提供・共有演習、堤防決壊等被災箇所への緊急復旧計画・工法検討などを実施しました。また、整備局及び各事務所において防災エキスパートの方々に参加していただき、被災箇所の緊急復旧に関する助言や本部等への報告内容・伝達方法などの対応について確認していただきました。

県	事務所	人数
青森	青森、高瀬川	2
岩手	岩手、北上川ダム統	6
宮城	整備局、仙台、北上下流	6
秋田	秋田、湯沢、能代	6
山形	山形、新庄、酒田	3
福島	福島	2
計		25

▲防災エキスパートの参加状況

洪水対応演習

### 3.これからの出水期に向けて

演習講評の際、防災エキスパートの方々から今後に向けての御意見、アドバイスをいただきました。

主な内容は以下のとおりです。

＜整備局に参加した防災エキスパートからのアドバイス＞

- これからの出水期に向け自分がすべき内容を体制表で確認することが必要。また、演習では、シナリオに基づいて行っても欲しい情報が無かったり、うまくできなかった点が見られた。今回の演習における課題等を踏まえ本番に臨んでいただきたい。



▲能代河川国道の演習状況



▲青森河川国道の演習状況



▲秋田河川国道の演習状況

＜青森河川国道事務所に参加した防災エキスパートからのアドバイス＞

- 危機管理の中で大事な事は3点ある。一つ目は事前の準備をいかに進めておくか、二つ目は本番の時の判断がいかに迅速で適切に行われてそれが行動に移されるか、三つ目はコミュニケーションがいかに図られるか。それらがうまく機能すれば勝ち試合に繋がる。あと一ヶ月もすれば東北地方も梅雨に入る。それまでに事前の準備と関係機関との意思疎通を一步でも進めて頂きたい。

いただきましたアドバイスを踏まえ、これからの出水期に向け万全を期して参ります。



▲防災エキスパートからの講評（整備局）



▲防災エキスパートからの講評（湯沢河国）

## TOPICS

2022年

青森

平常時活動

## 出張所と防災エキスパートとの顔合わせ

～R4年度活動についてのリスクアセス～

青森支所では、令和4年度を迎え、防災エキスパートと出張所（支所）との顔合わせを行いました。顔合わせでは、防災エキスパートとの連絡体制の確認や出張所管内における懸案事項箇所について情報共有を行いました。

日頃からの意思疎通、顔が見える関係は非常時の対応において重要です。人事異動等で体制が変わる年度初めに行うことで、今年度も円滑な活動が期待されます。



▲青森地区国道維持管理室



▲八戸出張所



▲弘前国道維持出張所



▲五所川原・藤崎出張所合同



▲十和田国道維持出張所



▲高瀬川河川（小川原湖出張所）



▲八戸国道出張所



▲岩木川ダム統管（浅瀬石川ダム支所）

## 令和4年度活動状況

令和4年度もスタートし、洪水期前に行われる堤防徒歩点検が各河川において行われ、多くの防災エキスパートの皆様が点検に随行して技術的アドバイスをしております。

また、整備局の事務所との意見交換会もスタートしました。今後、順次開催が予定されておりますので、防災エキスパートの皆様には引き続きご協力をお願いします。

### 【防災エキスパートとの意見交換会の実施（R4年4月～）】

#### ■ 仙台

開催月日：令和4年4月20日（水）  
 会場：仙台河川国道事務所 大会議室  
 出席者：仙台河国（河川・海岸） 13名  
 防災エキスパート・事務局10名

主な内容

- ・事務所からの情報提供
- ・防災エキスパート事務局からの情報提供
- ・意見交換



▲ 4.20 仙台河川国道事務所

#### ■ 山形

開催月日：令和4年5月11日（水）  
 会場：山形河川国道事務所 大会議室  
 出席者：山形河国（河川） 8名  
 防災エキスパート・事務局 6名

主な内容

- ・事務所からの情報提供
- ・防災エキスパート事務局からの情報提供
- ・意見交換



▲ 5.11 山形河川国道事務所

#### 編集後記

今年の2月24日、ロシアによるウクライナへの侵攻が開始され3ヶ月が過ぎました。テレビから流れる悲惨な映像は、「今この時代に本当に起こっているのか」と信じたくありません。世界経済へも大きな影響を与えており、一刻も早い終戦と世界の平和を願うばかりです。

さて、新型コロナウイルス感染症は未だに収束が見えておりませんが、感染対策を行うことで制約を受けていた社会活動が徐々に戻りつつあり、少し明るい兆しが見えてきたような気がします。毎年5月に開催される水防演習も2年続けて見送られてきましたが、今年は、5月29日に大崎市（江合川左岸）において開催されました。防災エキスパート10名も参加頂き、私もサポート役として3年ぶりに参加させて頂きました。参加機関87機関、約3,000人（一般見学者、来賓含む）の参加の下で行われた緊迫感のある訓練が行われました。第二部の水防競技大会では、水防団の皆様が県を代表して必死に挑んでいる姿に感動を覚えました。

開会式の挨拶において、「訓練は本番の如く、本番は訓練の如く」と激励がありました。本番で持っている力を出し切ることが出来るよう、日頃から備えておきたいものです。（H.H）



#### 防災エキスパート事務局

（一般社団法人東北地域づくり協会 防災技術部）

TEL：022-268-4711

FAX：022-227-5244

E-mail：bousai-exp@kyokai.or.jp